

形名	UV-CU01007K-LS9
----	-----------------

このたびは東芝ウイルス抑制・除菌用UV照射器をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この施工説明書と同梱の取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意

UV照射器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。工事が終了しましたら、この施工説明書と同梱の取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

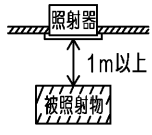
工事店様へ
設置工事が完了しましたら、当社が定めます設置、ご使用条件に合致していることを確認するため、必ず弊社ホームページから『UVee設置確認・作業完了書』のご登録をお願いします。（登録用のホームページのURLは、次ページにあります。）
後日、ご登録いただいた工事店様メールアドレス宛に、弊社担当者より受領番号をご連絡させていただきます。

工事店様へ

施工上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 照射器の取り付けは、本体表示並びに本施工説明書に従ってください。取り付けに不備があると照射器落下、感電、火災の原因となります。
- この照射器は天井埋込専用器具です。傾斜天井・壁には取り付けしないでください。指定以外の取り付けを行うと照射器落下の原因となります。
- この照射器は、振動や衝撃のある場所、粉塵の発生・滞留する場所（工場やトンネル内にある駅ホーム等）、腐食性ガス（塩素ガス・硫黄成分等）・溶液の発散する場所、オイルミストが発生する場所等には使用しないでください。
- 照射器の取り付けは、質量の耐える所に、「照射器の取付け方」に従って行ってください。取り付けに不備があると照射器落下、感電、火災等の原因となります。
- 照射器を改造したり、部品を変更して使用しないでください。照射器落下、感電、火災の原因となります。
- 照射器と被照射物との距離は、1m以上離して使用してください。指定よりも近すぎると被照射物の変色、変形、火災の原因となります。



■この照射器は断熱施工不可です。

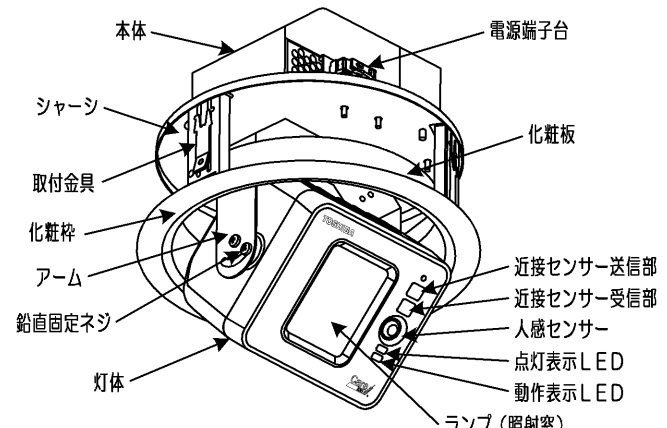
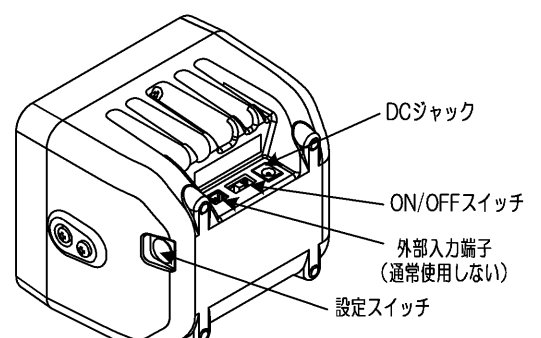
断熱施工される場合、施工説明書内の「断熱材・防音材の施工方法」に従った特別な施工が必要です。そのまま施工されますと火災の原因となります。



⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- この照射器は、5℃～40℃の範囲で使用するよう設計してあります。サウナなどの高温になる場所で使用すると火災、照射器短寿命の原因となります。
- 照射器を密閉した空間に設置しないでください。照射器短寿命の原因となります。
- 紫外線検知式炎センサーがある場所では使用しないでください。炎センサーが誤検出される可能性があります。
- 照射器に表示された電源電圧（定格電圧±6%以内）以外の電圧で使用しないでください。間違っていると短寿命、火災の原因となります。（照射器の定格電圧と電源電圧は照射器を取り付ける前に必ず確認してください。）
- 照射器同士は密着させたり集合して使用すると、過熱により照射器が変形、変色したり火災の原因となります。
- 決められた台数以上の照射器を接続しないでください。
- 照射器の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用してください。
- 移動、増設した場合、紫外線が増えるので注意してください。

■各部の名称

本体、電源端子台、化粧板、DCジャック、ON/OFFスイッチ、外部入力端子（通常使用しない）、設定スイッチ、ランプ（照射窓）、動作表示LED、点灯表示LED、人感センサー、近接センサー受信部、近接センサー送信部、鉛直固定ネジ、アーム、化粧枠、取付金具、シャージ

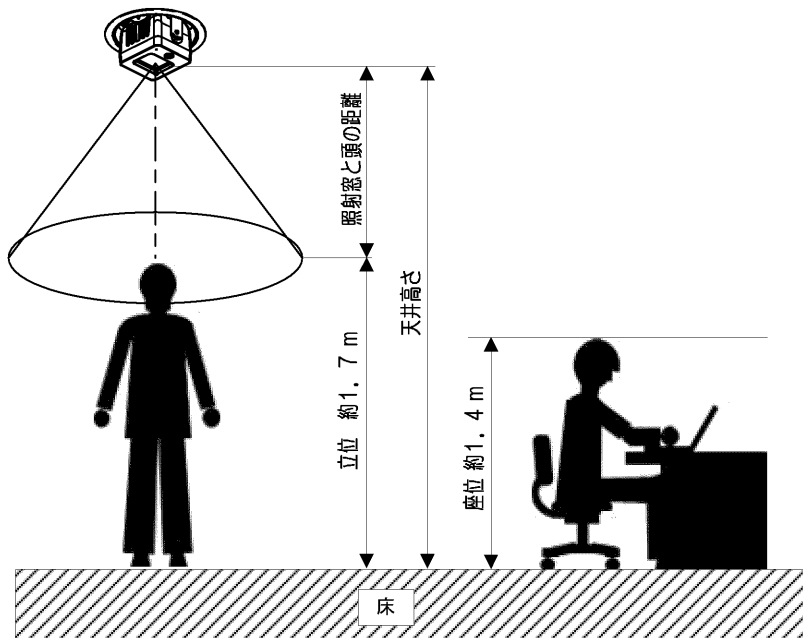
（蓋を開けると左図のようなロータリースイッチがあります。）

■施工準備

(1) 設定No.の準備と登録

JIS Z 8812では紫外線ばく露の許容量は 222 nmの場合、 22 mJ/cm^2 (1日8時間) に定められています。この値を超えないようにするために必ず設定スイッチのダイヤルを設定環境に応じた設定No.に変更してから施工してください。設定No.は、『設定No.の決め方』に従って設定してください。工事店様は、設置工事が完了したら弊社が定める設置・ご使用条件に合致していることを確認するため、以下のURLから『UVee設置確認・作業完了書』のご登録をお願いします。

http://www.tlt.co.jp/tlt/support/completion_report/uvee/uvee.htm

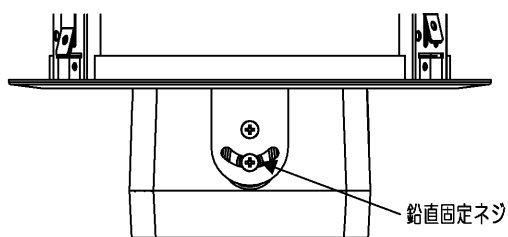


(図1 照射窓と人の頭の距離)

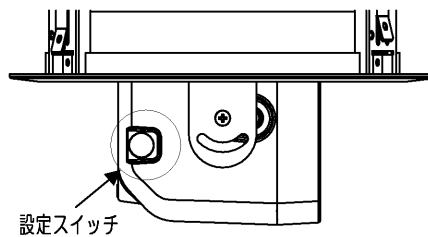
(2) 設定No.の設定方法

以下の手順にて設置確認・作業完了書の設定No.に設定スイッチのダイヤルを合わせます。

- ①鉛直固定ネジ2ヶ所を外します。(図2)
- ②灯体を90°回転させて、設定スイッチフタを外してください。(図3、5)
- ③設定スイッチを設置確認・作業完了書の設定No.に合わせます。(図4)
- ④照射器付属の設定スイッチフタを灯具に戻します。(図5)
- ⑤OFF/ONスイッチがON側になっていることを確認してください。(図6)



(図2)

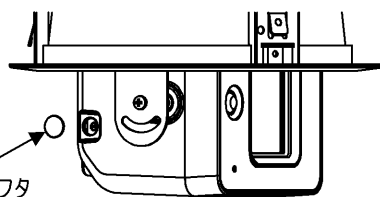


(図3)

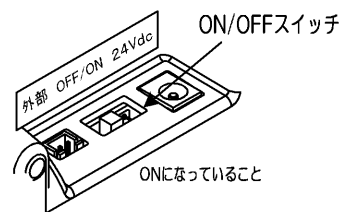


(図4)

設定スイッチフタ



(図5)



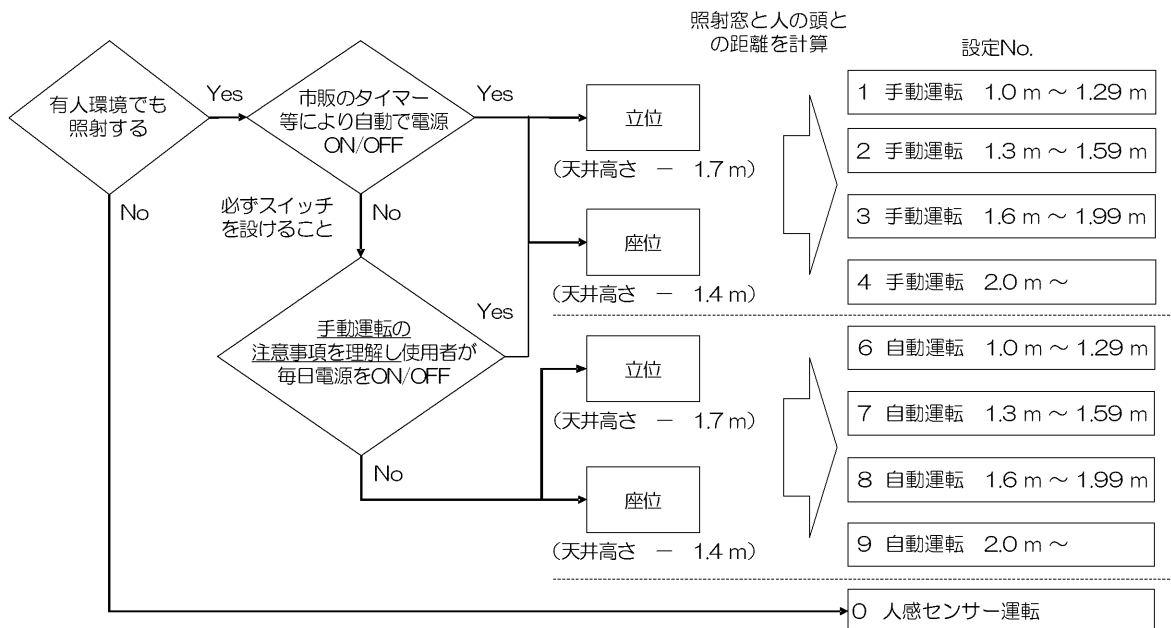
(図6)

■設定No. の決め方

工事店様へ

設定No.は以下のフローチャートにて決定し、(1)を使用者へ説明してください。

また、手動運転を行う場合は、(2)の注意事項を守ってください。



(1) 使用者への説明事項

- 取扱説明書の使用方法、注意事項をよくお読みのうえ、使用者に使い方をご説明ください。使い方を誤りますと、人体（人の肌、目など）に影響を及ぼす恐れがあります。
- 使用者による設定No.の変更はしないよう説明してください。
- 近接センサーにより照射距離1 m 以内は、セーフティー機能が働き強制消灯されます。1 m 以内に物体を置かないでください。
- 本器具の照射窓の直視は避けてください。目に違和感を感じる場合があります。

(2) 手動運転時の注意事項

手動運転は、主電源を ONすると有人モードから開始する運転設定です。

8時間の有人モードと、6時間の人感センサーモードの14時間を経て自動的にOFFします。

主電源を入切すると、再度運転を始めることができます。

- JIS Z 8812では紫外線ばく露の許容量は 222 nmの場合、22 mJ/cm² (1日8時間) に定められています。照射した後、主電源を入切すると、再度有人モードが開始しますので、人への照射が1日あたり8時間を超えないように制限してください。

UVee設置確認・作業完了書の登録には以下の内容が必要となります。
 また、登録は以下のURLで行ってください。
http://www.tlt.co.jp/tlt/support/completion_report/uvee/uvee.htm



作成日	
施設名(物件名)	
代理店様名	
部署名	

UVee 設置確認・作業完了書

1.工事店様（設置作業業者様）

貴社名	
住所	
部署名	
ご担当者名	
電話番号	
FAX No.	
メールアドレス	

2.施主様情報

貴社名	
住所	
部署名	
ご担当者名	
電話番号	
FAX No.	
メールアドレス	

3.設置状況

設置日	型名						
(A)設置場所	(B)設置階	(C)照射対象物	(D)有人条件	(E)人への照射距離	(F)設定No.	設置台数	
例	1	3	5	1	2	7	
①							
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							

●記入No.（上表のA,C,D,E,Fに、下表から適合するNo.を記入ください）

A)設置場所	C)照射対象物	D)有人条件	E)人への照射距離	F)設定No
1 執務室/教室	1 机/テーブル	1 立位	0 1.0m未満	0 人感センサー運転
2 会議室	2 椅子/ソファ	2 座位	1 1.0m~1.29m	1 手動運転 1.0m~1.29m
3 店舗	3 ドアノブ/手すり		2 1.3m~1.59m	2 手動運転 1.3m~1.59m
4 ロビー/受付	4 複写機/レジ		3 1.6m~1.99m	3 手動運転 1.6m~1.99m
5 待合室	5 スイッチ/操作パネル		4 2.0m~	4 手動運転 2.0m~
6 食堂	6 洗面台			6 自動運転 1.0m~1.29m
7 廊下	7 便座			7 自動運転 1.3m~1.59m
8 トイレ	8 空気除菌/空間除菌			8 自動運転 1.6m~1.99m
9 その他	9 その他			9 自動運転 2.0m~

※ 人への照射距離とは、立位:身長170cm / 座位:140cmの頭位置を想定した際の距離です。

ご注意) 設定No.が適切か、以下の早見表で再度ご確認ください。

人への照射距離	F)設定No.	F)設定No.								
		0	1	2	3	4	6	7	8	9
0 1.0m未満	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1 1.0m~1.29m	◎	◎	×	×	×	×	◎	×	×	×
2 1.3m~1.59m	◎	○	◎	×	×	○	◎	×	×	×
3 1.6m~1.99m	◎	○	○	◎	×	○	○	◎	×	×
4 2.0m~	◎	○	○	○	◎	○	○	○	◎	◎

◎：紫外線量の設定が適切です
 ○：紫外線量が不十分ですが設定可能です
 ×：紫外線量が超過する恐れがあり設定禁止

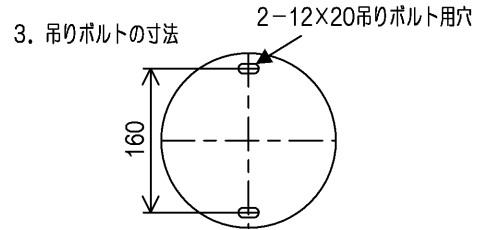
設置後のチェック（設置後に必ず下記を確認し、チェックしてください）

- 設置時、照射距離の1m以内に常時、物体がないことを確認しました。
- 手動運転を選択された場合、お施主様へ注意事項*をご説明致しました。

■照射器の取り付けかた

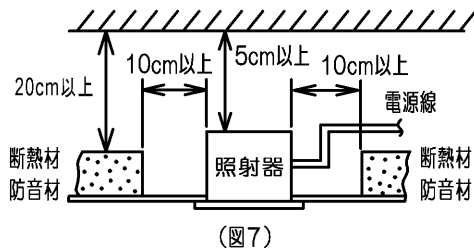
1 照射器の埋込穴

1. 天井に指定サイズの埋込穴 (φ200±2 mm) をあけてください。
2. 取り付け前に照射器質量や操作に十分耐えるよう取付部の強度を確保してください。
 ※薄い天井、ロックウールなどの柔らかい天井、壁面には取り付けしないでください。
 ※取付可能天井厚は、5 mm~25 mmです。
 ※埋込穴をあける際は専用工具を用いてあげてください。
 (注) 取り付けに不備があると照射器落下の原因となります。



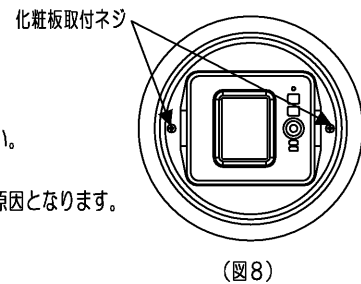
2 断熱材・防音材の施工方法

- 住宅の断熱施工天井ではご使用できません。
- 住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法は図7のとおりです。
- 電源線は断熱材・防音材の上側に配置してください。

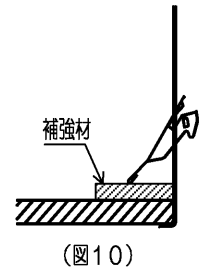
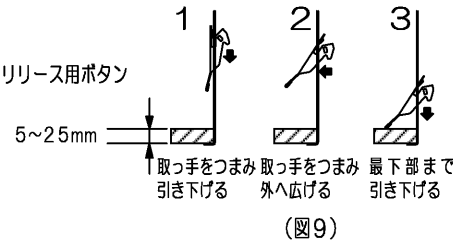
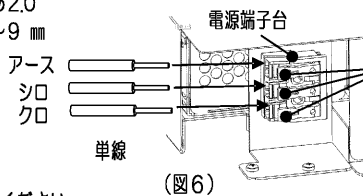


3 照射器本体の取り付け

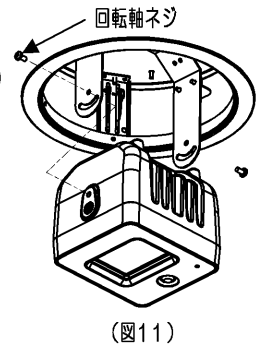
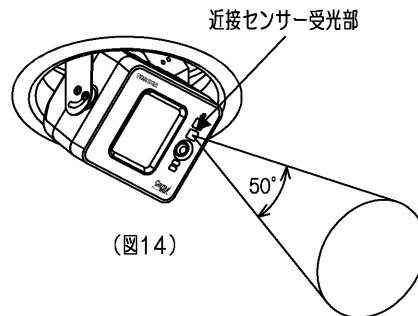
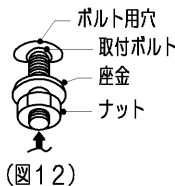
1. 化粧板取付ネジ (化粧板に取りついている) 2ヶ所を緩めて化粧板を外してください。(図8)
2. 電源線を接続してください。
 - ① 電源線、アース線の被覆を端子台のストリップゲージに合わせて所定の長さにストリップしてください。
 - ② 電源線、アース線を確実に端子台の奥まで差し込んでください。
 ※曲がった電線を挿入したりねじって挿入しないでください。接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。
 - ③ 本製品の送り配線にUV照射器以外を接続しないでください。
 - ④ アース線は、D種 (第三種) 接地工事を施してください。
 ※取付に不備があると感電、火災および照射器が正常に動作しない原因となりますので接地工事は必ず行ってください。
 - ⑤ 電源線、アース線を外す場合は、必ず電源を切り、リリースボタンを押しながら電源線、アース線を引き抜いてください。



適合電線 φ1.6、φ2.0
ストリップ長 8~9 mm



3. 本体を取り付けてください。
 - 取付金具で取り付ける場合
 照射器本体を埋込穴に挿入し、ゆっくり押し上げ取付金具の3ヶ所で固定してください。(図9)
 (注) 珪酸カルシウム板の天井に取り付ける場合は、取付金具と天井の間に補強材を入れてください。(図10)
 - 吊りボルトで取り付ける場合
 - ① 回転軸ネジ2ヶ所を外し、灯体を外してください。(図11)
 - ② 本体を取付ボルトで確実に付けてください。(取付ボルトはW3/8またはM10を使用し必ず座金を入れてください。)
 - ③ 回転軸ネジ2ヶ所で灯体を本体に取り付けてください。(本体に対して灯体は回転しますので注意してください。)



4. 化粧板を化粧板取付ネジで取り付けてください。(図8)
5. UV照射器の照射方向を定めてください。(このとき水平方向の回転ができない場合は、化粧板取付ネジをゆるめてください。)

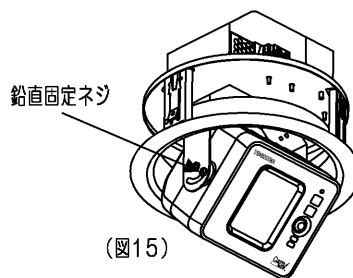
※ 照射器に取り付けられたセンサーは赤外線を検出する方式です。図14の角度内に蛍光灯や白熱電球など赤外線を発する機器が存在すると、センサーが反応して照射器が動作を停止する場合があります。

■照射器の取り付けかた

6. 鉛直固定ネジ2ヶ所、化粧板取付ネジ2ヶ所を確実に固定してください。(図8、図15)
(鉛直方向、水平方向が固定されます。) 施工後の動作の確認は、取扱説明書のp.7、8、11を参照ください。

施工が完了しましたら、設置確認・作業完了書の登録をお願いします。
また、取扱説明書のp.13 運転設定に設定No.を記載しお客様へお渡しください。

7. 設置直後は、動作が不安定となり運転開始から数分後に動作表示LEDが赤色に点滅し装置が停止することがあります。この症状が出た場合、主電源を入れなおしてください。
また、詳細は取扱説明書の8.トラブルシューティングを確認してください。



■仕様

形名	UV-CU01007K-LS9	
紫外線放射照度※ (mW/cm ²)	2.5	
光源	222 nm 紫外線ランプ	
電源電圧 (V)	100 / 200 / 240	
消費電力 (W)	19.3 / 19.5 / 19.9	
使用環境	温度: 5℃ ~ 40℃	湿度: 5% ~ 85% (結露なきこと)
保管環境	温度: -10℃ ~ 60℃	湿度: 5% ~ 85% (結露なきこと)
運転設定	人感センサー運転、手動運転、自動運転から選択	
漏洩電流 (mA)	0.113 / 0.226 / 0.267	

※ 弊社標準環境において照射窓から50 mmの位置の数値。
使用環境によっては、紫外線放射照度の値が変化する可能性があります。
仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。
除菌に対する具体的な効果および根拠はカタログまたはリーフレットを参照ください。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料: 無料)
携帯電話 046-862-2772 (通話料: 有料)
FAX 0570-000-661 (通話料: 有料)
ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証について

- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。
- ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、「お買い上げ日を特定できるもの」を添えてお買い上げの販売店(工事店)までお申し出ください。
- 保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または東芝ライテック商品ご相談センターにお問い合わせください。
- その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
- 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について

- 修理のため取外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社はUV照射器の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お読みになったあとも必ず保管してください

001UV1D